星槎の歌
～Star Raft（ほしのいかだ）～

作詞／宮澤保夫・星槎の歌制定委員会
作曲／さいとう聖子

集う我等の学び舎は 友と育む源の
星の槎に心と真 明日に光と勇気を求める

ああ星槎 我が星槎
強く生きるその想い

共に星に学び人を知り めぐる未来に希望の天空
進む道には星の槎 心に溢れる新たな力

ああ星槎 我が星槎
強く生きるその想い

ああ星槎 我等が星槎
強く生きるその想い



オンラインからの参加方法

準備や当日の様子をHP・各SNSよりご確認いただけます

アフリカ　星槎
https://seisasaab.com

エントリー

アーカイブ配信もcheck!

公式Facebook

公式Instagram

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs未来都市・横浜

unesco Member of the Associated Schools Network

75 YEARS OF JAPAN IN UNESCO

SDGs × SAAB

12 ANNIVERSARY

SEISA Africa Asia Bridge 2026

11.14 SAT
10:00 ▸ 16:00

開催場所
星槎高等学校　横浜市旭区若葉台4-35-1　045-442-8686（代表）
星槎グループHP　https://www.seisagroup.jp/

星槎が掲げる「共生社会の実現」そのヒントがSAAB2026にあります。

アフリカそしてアジアは世界の中でも、最も変化の大きな地域として注目をされており、人々が持つ多様性にもまた、共生への大きなヒントが隠されています。人類の歴史・伝統・文化…。まだまだ知らないアフリカ、アジアを知り、お互いを認め合い、そしてつながる“懸け橋”に、我々はなりたい。このフェスティバルを通して、日本とアフリカ、アジアの関わりが、さらに強くなることを願っています。

主　催　SEISA Africa Asia Bridge 実行委員会

後　援　外務省 / 文部科学省 / 神奈川県 / 小田原市 / 大磯町 / 箱根町 / 神奈川県教育委員会 / 横浜市政策経営・国際戦略局 / 横浜市教育委員会 / 小田原市教育委員会 / 大磯町教育委員会 / JICA / ヨコハマSDGsデザインセンター / 公益財団法人世界こども財団 / 一般社団法人星槎グループ / 学校法人星槎 / 学校法人国際学園 / 日本共生科学会

協　力　学校法人 星槎こども園 KIDS planet / 社会福祉法人 星槎 / 星槎学園





子どもたちが
“未来を自分で考える”ために
SAABをやるんだ
種まきなんだよ

SAABとは

2015年から始まったSEISA Africa Asia Bridge（以下SAAB）は2026年で第12回目を迎えます。
星槎グループ創設者である宮澤保夫名誉会長の「これからの子どもたちの未来のために、アフリカとアジアに“橋＝Bridge”をかけなければならない」という想いからSAABは誕生しました。
今やアフリカは、多くの天然資源を有し、またICT開発の拠点として、多くの人々が注目する世界の中心ともいえる大陸へと変化しています。この変化に対して、10年先、20年先の世界のあり方を考える上で、とても大切な時間にさしかかっています。SAABは、子どもたちがアフリカの国々について「知る」「繋がる」という目標の実現を目指し、多くの国の方々と共に、アフリカのもつ多様性の素晴らしさ、可能性について語り合い、共感し合うイベントです。
近年、ICTの活用により、多くの国の方々と共に、多様性の素晴らしさ、その可能性について深く考え、語り合う機会にもなっています。私たち日本人が海外の人々とどのように関わり合い、繋がることができるのか。また、さまざまな国々が抱える多くの問題に対して、どのように行動することができるのかを探る機会にもしていきたいと考えています。星槎の考える本当に大切な学びは、「それぞれの違いを認め、排除せずに仲間になること。そして、共に行動すること」に他なりません。この機会での経験が、次の世代を担う日本と海外の若者たち自身が考え、行動する種になることを願っています。

「子どもたちが未来を自分で考えるためにSAABをやるんだ！種まきなんだよ！」
私たちは宮澤保夫名誉会長の想いを受け継ぎ、未来の子どもたちへの「種まき」を行っていきます。

第12回 SEISA Africa Asia Bridge 2026 開催にあたって

実行委員長　金子 肇

SEISA Africa Asia Bridgeは、東京オリンピック・パラリンピックに、アフリカ・アジアの国々が、一国でも多く参加してほしいとの願いから、スタートしました。

しかしながら、今やアフリカは、多くの天然資源を有し、多くの人々が注目する世界の中心ともいえる大陸へと変容しています。

SEISA Africa Asia Bridgeは、若者たちがアフリカの国々について深く知り、強く繋がるという目標の実現を目指し、アフリカのもつ多様性や将来の可能性について語り合う素晴らしいフェスティバルです。

そして、この機会の経験が次の世代を担う日本と海外の若者たちが互いに交流するきっかけとなることを願っています。

SAAB2026 スペシャルコンテンツ

Stage Event

3ch　11:50〜

『“弱肉強食”の時代の戦争と平和を考えよう ～日本はどう生き残っていけるのか～』



知繋プロジェクト

講師：星槎大学教授　佐々木 伸
世界中で紛争が続いています。その歴史的な原因、大国の思惑を紐解き、この世界を生きる一人ひとりの心の持ち方を一緒に考えてみよう。

2ch　11:50〜

African Music Workshop



ジャンベとは、西アフリカの伝統的な打楽器で、素手で叩き力加減や場所によって多様な音色を使い分けられるのが特徴です。主に祭りや儀式で使われてきた歴史がありますが、現在では音楽ジャンルを問わず幅広く演奏されています。

2ch　12:50〜

African Dance LESSONs



講師：YUKI一橋本 友季子
10代でアフリカンダンスに出会い、マスターのレッスンを求め渡航。その後も修行を続けている。最初の渡航帰国後から自らのグループを立ち上げ全国各地で公演。外務省依頼のフェスティバルへの出演などを重ね在日アフリカンアーティストとも共演をしている。国内外でダンスワークショップを展開し、現在は大人から子どもまで心身調整もする様なレッスンを目指して開催している。

Guest



フェンシング元日本代表
モチベーショナルスピーカー・タレント
木村 毬乃選手

- 2009年 JOCジュニアオリンピックカップ 優勝
- 2014年 全日本学生フェンシング選手権 個人・団体 優勝
- 2015年 U-23アジア大会 団体 準優勝
- 2017年 全日本フェンシング選手権 3位
- 2019〜2024年 ワールドカップ出場

滋賀県出身。フェンシング一家に生まれ、高校進学後に本格的に競技を開始。高校時代に当時最年少で日本代表入りを果たし、ワールドカップをはじめとする国際大会に出場。国内外の舞台で長年にわたり競技に取り組む。2024年に現役を引退。現在はフェンシング指導や全国各地での講演をはじめ、イベント出演、演技、音楽など、幅広い表現活動に取り組んでいる。競技人生で培った挑戦と挫折の経験を通じて、自分らしく生きることの大切さを伝えている。



パラサーフィン
パラクライミング
パラローイング
池上 凪選手

- 2023年 全日本パラサーフィン選手権優勝
- 2025年 パラクライミング日本代表
- 2026年 パラローイング始動

1991年生まれ、千葉県出身のパラスポーツ選手。3児の母として農業に従事する傍ら、パラアスリートとしてマルチに活躍しています。19歳で出産後、難病（膠原病）の発症や事故により右手に重度の障害を負いました。リハビリを経て2019年より本格的にサーフィンを開始。健常者と同じ大会でも実績を重ね、2023年の「ISA ISA World Para Surfing Championship」では世界チャンピオンに輝きました。現在はパラサーフィンをはじめ、パラクライミングやパラローイングなど多岐にわたる種目に挑戦し、限界をつくらない姿勢で注目を集めています。

SAAB2026 タイムテーブル

大使館PV・接続確認タイム







※『sTED～Open～』『全国調べ学習～ご当地SDGs～』『LINK』に関してはオンデマンドで別枠でHP公開

	1ch SAABのメインチャンネル！イベント会場である横浜会場の体育館でスペシャルな企画を見てみよう！	2ch 横浜会場のグラウンドステージの様子を見てみよう！	3ch 星槎大学企画の「知繋プロジェクト」と様々な企画が盛りだくさん！ディープラーニングの世界へ！
10:00～	オープニングセレモニー ①オープニング ムービー・開催宣言 ②主催者挨拶 ③来賓挨拶（UN OSAA（国際連合アフリカ担当事務総長特別顧問室）・UNDP（国連開発計画）・大使館・外務省・横浜市 等 ④来賓紹介 ⑤SAAB future 宣言		
10:50～	生徒・一般来場者・大使館交流タイム		
11:50～	SDGsプレゼンテーション 全国大会決勝ラウンド 『sTED～Final～』	11:50～ ジャンベ体験 & 演奏会 『African Music Workshop』 音楽家 松川 かの子様 演奏 セネガル共和国音楽家 ワガン・ンジャエ・ローズ様 演奏	11:50～ 知繋プロジェクト星槎大学presents 『“弱肉強食”の時代の戦争と平和を考えよう 日本はどう生き残っていけるのか』 講義：佐々木伸教授
12:50～		アフリカンダンスワークショップ 『African Dance LESSONs』 登壇者：Yuki Hashimoto	12:50～ 横浜市政策経営・国際戦略局 グローバル都市戦略課 presents 『ユースオリンピックでつながる横浜とダカール』
13:20～	SEISA 全国生徒会 presents 『星槎遺産 × ○○』		
13:50～		夢トーク『ロスオリンピックに向けて/新たな可能性を信じて』 登壇者： ・パラクライミング日本代表 池上 凪様 ・フェンシング元日本代表 木村 毬乃様	13:50～ 知繋プロジェクト星槎大学 presents 『自分の書いた文章は相手に伝わるか？ ―文章コミュニケーションのコツ―』
14:20～	星槎吹奏楽団 presents 『星槎Sound～日本の響き～』		
14:50～		SDGsプレゼンテーション 『sTED～Final～結果発表』	14:50～ 星槎全国親の会presents 『星槎全国親の会★ヒストリー～SAAB編～』
15:00～	SEISA presents 『全国調べ学習～ご当地SDGs～』		
		グランドフィナーレ準備、グランドウンド移動	
15:40～	グランドフィナーレ	アフリカン ミュージックダンス・星槎吹奏楽団コラボレーション・メッセージ等	

会場MAP

校舎

手洗い場
Washing Area

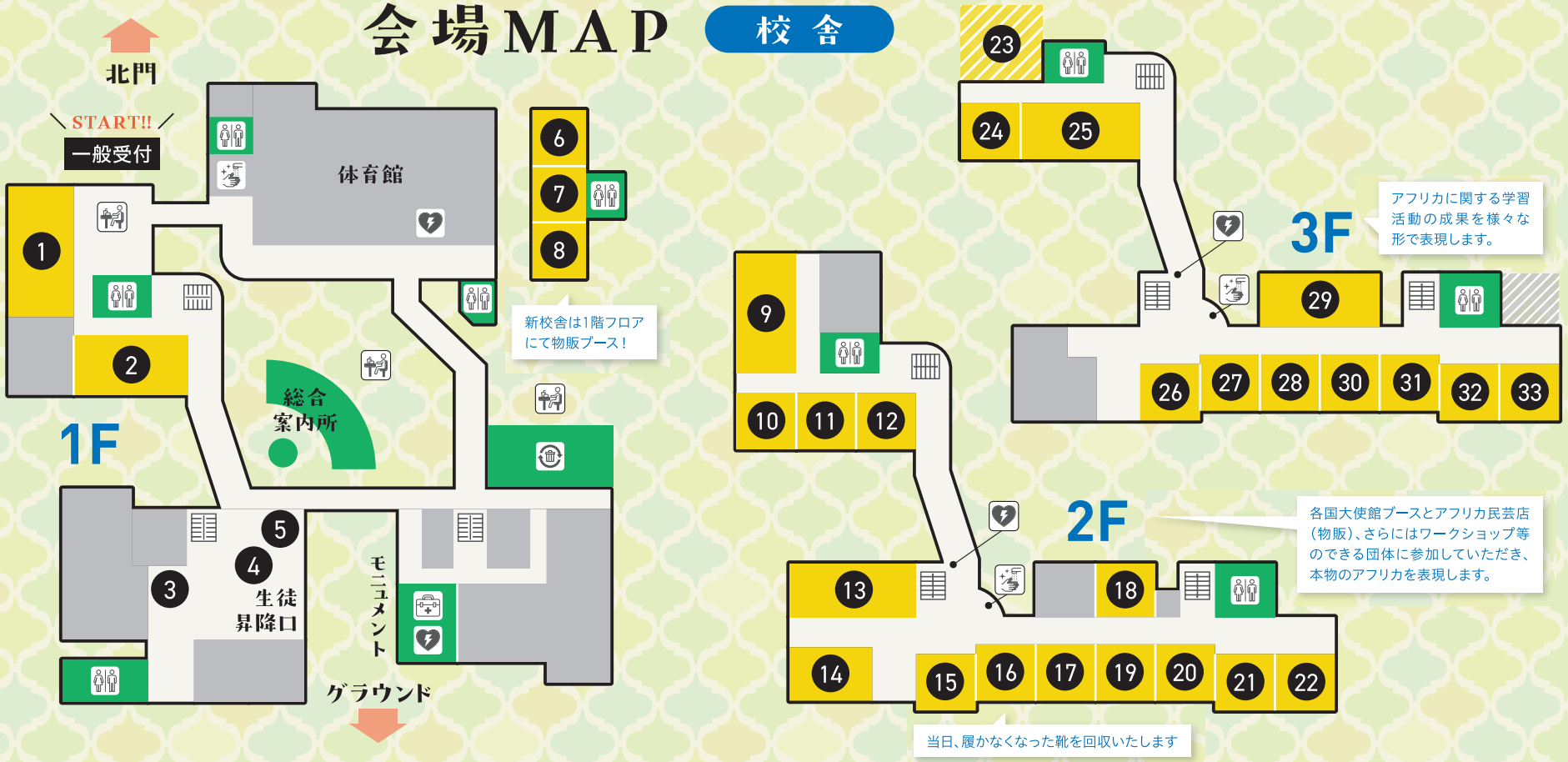
トイレ
Rest Room

エコステーション
Eco Station

飲食スペース
Eating and Drinking Area

救護スペース
First-aid Station

AED
Automated External Defibrillator



1F

1 星槎紹介・SAABの歴史ブース …… 展示
2 • ゆたかカレッジ Y.Y.WORK（ゆたかカレッジ横浜キャンパス） …… 物販・体験
• マンゴーの子どもたち Tumaini Link（ぐんま国際アカデミー） …展示・物販・体験
3 熊本地震募金 …… 募金
4 アフリカアジア衣装体験 …… 体験
5 卒業生親の会わかば／星槎中高保護者会 ペーパービーズワークショップ …… 体験
6 • MOYOMOYO AFRICA …… 物販
• アフリカピリピリ株式会社 …… 物販
• Warm Hearts Coffee Club …… 物販
7 • BISSAP …… 物販
• Wae Mode …… 物販
• Africafabra …… 物販
8 • BENIN MARKET LAWSON …… 物販
• ナラヤニバンダル …… 物販
• 一村一品マーケット …… 物販

2F

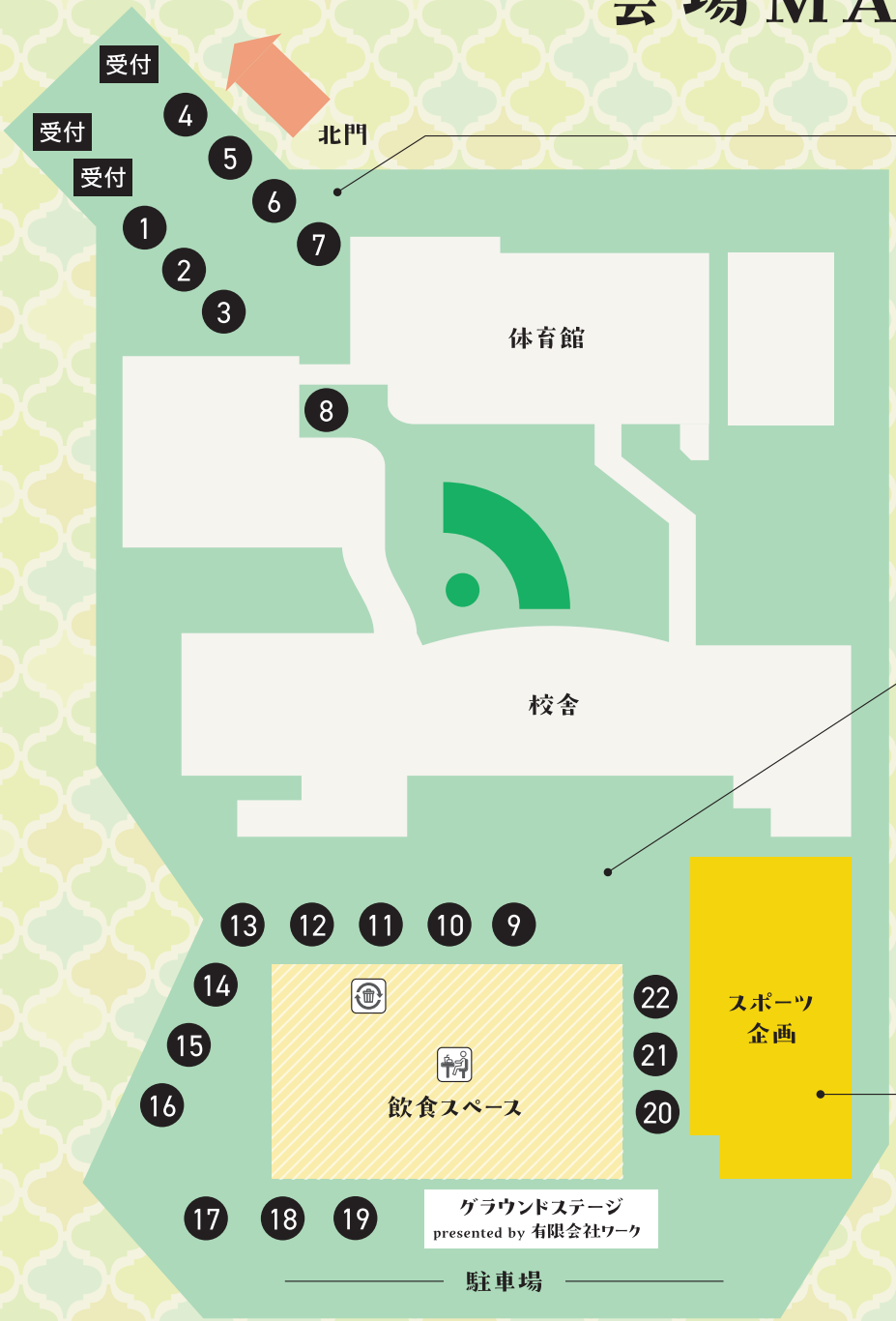
9 星槎中高教室企画 …… 学習成果発表・展示
10 星槎中高教室企画 …… 学習成果発表・展示
11 星槎中高教室企画 …… 学習成果発表・展示
12 星槎中高教室企画 …… 学習成果発表・展示
13 くるり工房 …… ワークショップ
14 sTED OPEN …… 学習成果発表
15 • アフリキコ …… 物販
• Arkofartnature …… 展示・体験
16 • 特定非営利活動法人NOMARK-adapt（ノーマークアダプト） …… 展示・物販・体験
• ドリームキッズ・アフリカプロジェクト… 展示・体験
17 • 大使館ブース …… 展示
• 公益財団法人世界子ども財団 …… 展示
18 知繋プロジェクト＆ユネスコスクール …… 講話・体験・展示
19 大使館ブース …… 展示
20 大使館ブース …… 展示
21 • 一般財団法人 国際ピース・ラビング・ピープル財団 …… 展示
• 横浜市政策経営・国際戦略局 …… 展示
22 「日本の香り、和花づくり」星槎大学学生リーダー会 …… 体験・展示



3F

23 さわらび喫茶 …… 飲食
24 さわらびバザー …… 物販
25 LINK …… 演劇
26 星槎中高教室企画 …… 学習成果発表・展示
27 星槎中高教室企画 …… 学習成果発表・展示
28 星槎中高教室企画 …… 学習成果発表・展示
29 星槎中高教室企画 …… 学習成果発表・展示
30 星槎中高教室企画 …… 学習成果発表・展示
31 星槎中高教室企画 …… 学習成果発表・展示
32 星槎中高教室企画 …… 学習成果発表・展示
33 星槎中高教室企画 …… 学習成果発表・展示

会場MAP グラウンド



飲食ブース

1. 星槎高校食品企画
2. 星槎高校食品企画
3. わかばカレー
4. 星槎高校食品企画
5. 星槎高校食品企画
6. 星槎高校食品企画
7. もったいない食堂
8. cafe Le Havre
9. Spice.Lunch.Labo
10. ナザルケバブ
11. Mr.Chicken
12. es.tokyo
13. 楽しい農園
14. ナイルエジプト料理
15. Senegalese NABOU SHOP
16. 燻製屋KEN
17. キッチンカーmoana
18. 韓国料理ストア
19. Aqui Brasil
20. u3doco
21. HOSHINO CHURROS
22. AMIGOS







スポーツ企画

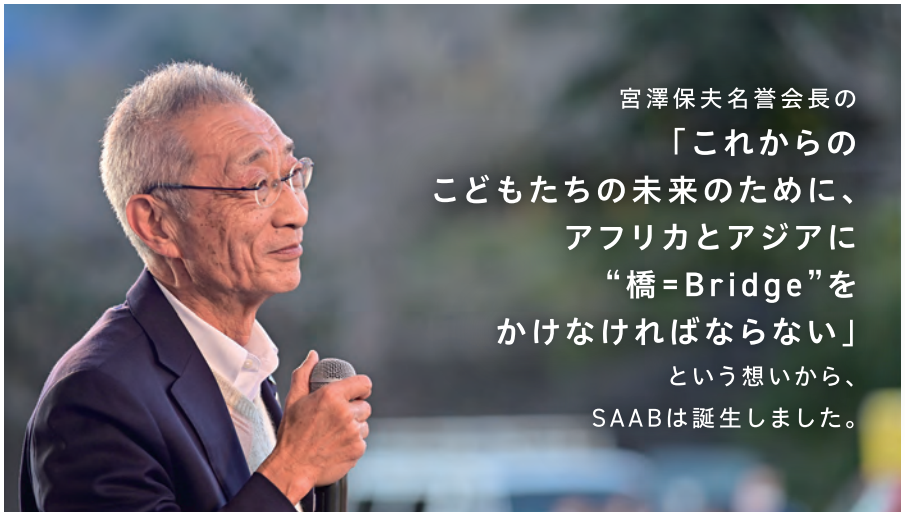
10:00～11:00　バスケットボール
11:30～12:30　ホッケー
13:00～14:00　サッカー（交流試合）
※終日ミニ体験コーナー有

アフリカで親しまれているスポーツや、オリンピック競技であるサッカー・ホッケー・バスケットボールの体験を通して、スポーツの楽しさや魅力に触れる。





SAABのあゆみ



これまでの経過

2015 **第1回 SEISA Africa Asia Bridge 開催**

2019 **SAAB Future宣言発表**
UNDP（国連開発計画）本部訪問
TICAD7（第7回アフリカ開発会議）参加

2020 SDGｓ達成を目指す先駆的な事業を対象とする
横浜市SDGs biz サポート助成金事業として認められる

2021 **文部科学省からユネスコ/日本ESD推薦事業として採択**
（Education For Sustainable Development　持続可能な開発のための教育）
日本代表としてユネスコ（本部）へ推薦する事業として認められる

2022 **ASPnet（Associated Schools Network）ユネスコスクール申請**
※星槎中学校・星槎高等学校チャレンジ期間

2023 ASPnet（Associated Schools Network）
ユネスコスクール・キャンディデート承認

2024 **横浜市国際局共催**
2025大阪・関西万博を契機とした地方公共団体による地域活性化に資するアフリカ地域との国際交流調査事業認定
外務省「TICAD9（第9回アフリカ開発会議）」パートナー事業に認定

2025 **ユネスコ提携学校ネットワーク（ASPnet）への加盟校として正式認定**
2025大阪・関西万博を契機とした地方公共団体による地域活性化に資するアフリカ地域との国際交流調査事業継続

2026 **「日本のユネスコ加盟75周年記念事業」に登録**

2015年
第1回 SEISA Africa Asia Bridge に寄せたメッセージ

アフリカ。この言葉は誰もが知っています。

しかし、私たちはアフリカのことを実際にどれだけ理解しているのでしょうか。単にアフリカといえばライオン、キリン、ゾウなどのイメージで思い描くことが多いのではないでしょうか。今は日本人から見ればアフリカは物理的にも、精神的にも遠く、私たちの日常からは確かに離れているように思われます。



一方、大陸としてのアフリカは地球上の陸地全体の20％以上を占めています。また、人類発祥の地とも呼ばれています。さらに全土で話されている言葉の種類は3,000を超えるといわれています。これから10年、20年、30年の先を見れば、天然資源に乏しい日本にとってこの大陸は重要です。天然資源等の分野において日本を安定させうる唯一の国々といっても過言ではありません。日本の未来を担うこどもたちが、アフリカの国々について多くのことを学び、お互いを知り、交流を持つことがとても大切だと私たちは考えます。



距離的にアフリカが遠いのは確かですが、近い将来には日本からアフリカまで数時間で行ける時代がやってくるかもしれません。例えば、東京から京都までの移動時間が江戸、明治、昭和、そして現在においてどのように変化してきたのかを考えれば、アフリカまで1～2時間で行くこともあながち夢物語ではないといえます。その距離が確実に縮まっていく中で、心の距離も近づけることが必要です。アジアの中でもアフリカを良く知っているのは私たちであり、アフリカと関わり、仲良くし、平和作り、国作りに関わっていく仲間としての日本人という、私たちのあり方が重要な意味を持ってくると考えます。

距離の遠さよりも心の近さを持つ若者たちが、日本においてもアフリカにおいてもより多く育っていってくれるためにも、皆様のご理解ご協力をいただければ幸甚です。何卒よろしくお願い申し上げます。

星槎グループ創設者　　宮澤 保夫



全世界が集う学びの祭典会場に10,593人が、現在と未来のかけ橋になる

テーマ「“知繋（ちけい）”＝知ること、繋がること」を掲げ、アフリカ・アジアの各国とより深く繋がることやSDGsの具現化・若い世代の交流の場として第11回目となるSEISA Africa Asia Bridge 2025を開催いたしました。天候にも恵まれ対面開催とオンライン開催での4チャンネル配信で実施いたしました。今年度も横浜市国際局と共催となり、2025大阪・関西万博を契機とした地方公共団体による地域活性化に資するアフリカ地域との国際交流調査事業に認定いただき、様々なサポートをいただいての開催となりました。またアフリカ・アジアの国々を対象に、ご協力いただいた大使館が15ヵ国、日本、UNDP（国連開発計画）、ニューヨーク育英学園、Rainbow International School、Marianas High School（MHS）、Northern Valley Regional High School at Demarest（NVD）、Northern Valley Regional High School at Old Tappan（NVOT）、ぐんま国際アカデミー（GKA）の教職員・生徒を合わせると40ヵ国以上、総参加人数10,593名の皆様と共に、学びと関わり合いの輪を広げることができました。オープニングセレモニーではUNDP国連開発計画駐日事務所所長ハジアリッチ秀子様、エリトリア国特命全権大使エスティファノス アフォワキ ハイレ閣下、衆議院議員で日本アフリカ友好議員連盟会長の逢沢一郎様、衆議院議員で法務副大臣の三谷英弘様、横浜市会議員で日本アフリカ友好・横浜市会議員連盟会長の佐藤祐文様、ニューヨーク育英学園理事長でジャーナリストの武田秀俊様からお言葉いただきました。

第11回大会では、各国大使館関係者に生徒が作成したブースの紹介を積極的に行い、生徒と大使館関係者が交流する場面も非常に多くみられ、未来を担う子どもたちの交流の場となることができました。生徒のブース紹介やオープニングセレモニーでの英語のスピーチでは、日々の学習の成果や国際交流の成果を発揮することができ、様々な方面より、高い評価をいただいております。SAABはこれからもアフリカ・アジアとのかけ橋になること・若い世代の子どもたちの交流の場になること・SDGs17の具現化に向けて一層力を入れ取り組んでいき、日本を代表するESD（持続可能な開発のための教育）を実践する国際交流フェスティバルを目指します。

最後にSEISA Africa Asia Bridgeがさらに子どもたちの国際交流・国際理解、星槎の3つの約束「人を認める」「人を排除しない」「仲間を作る」を実践できるよう努めて参ります。そして、私たちが大切にしている「共生」の理念を様々な形で表現し、多くの皆様方と共にSEISA Africa Asia Bridgeを充実・発展させていきたいと考えております。

来場者数

	当日（オンライン含む）		合 計
2025年	**10,593名**		**10,593名**
2024年	8,633名		8,633名
2023年	7,463名		7,463名
2022年	日本約25,000名+世界約15,000名＊		約40,000名
2021年	日本約27,000名+世界約10,000名＊		約37,000名
2020年	日本約20,000名+ミャンマー約35,000名＊		約55,000名
	第1日目	第2日目	
2019年	3,465名	4,273名	7,738名
2018年	3,014名	3,997名	7,011名
2017年	3,604名	3,643名	7,247名
2016年	2,600名	3,200名	5,800名
2015年	4,000名		4,000名

＊…オンライン開催をメインに実施

参加国数

	大使館関係	その他（日本含）	合 計
2025年	**15カ国**	**25カ国**	**40カ国**
2024年	18カ国	19カ国	37カ国
2023年	19カ国	12カ国	31カ国
2022年	15カ国	17カ国＊	32カ国
2021年	16カ国	23カ国＊	39カ国
2020年	6カ国	24カ国＊	30カ国
2019年	17カ国	15カ国	32カ国
2018年	16カ国	20カ国	36カ国
2017年	21カ国	14カ国	35カ国
2016年	13カ国	17カ国	30カ国
2015年	9カ国	8カ国	17カ国

＊…オンライン含む

参加大使館　会場来校 ※順不同

エリトリア国／ウガンダ共和国／マラウイ共和国／アンゴラ共和国／コートジボワール共和国／エチオピア連邦民主共和国
コンゴ共和国／タンザニア連合共和国／リベリア共和国／モザンビーク共和国／レソト王国／マリ共和国／ベナン共和国
ナミビア共和国／ルワンダ共和国

参加国・地域　参加国・地域（参加された方の国、地域（来場およびオンライン参加））※順不同

アメリカ合衆国／ニュージーランド／ブータン王国／中華人民共和国／バングラデシュ人民共和国／日本／大韓民国
ナイジェリア連邦共和国／インド共和国／タイ王国／フィリピン共和国／セネガル共和国／ケニア共和国／北朝鮮
スリランカ民主社会主義共和国／インドネシア共和国／ガーナ共和国／ミャンマー連邦共和国／台湾／ブルキナファソ
北マリアナ諸島自治連邦／ベトナム社会主義共和国／エジプト・アラブ共和国／南アフリカ共和国／トーゴ共和国

特別協力　国連開発計画（UNDP）／日本アフリカ友好議員連盟／日本アフリカ友好・横浜市会議員連盟／ニューヨーク育英学園
Rainbow International School／Marianas High School（MHS）／ぐんま国際アカデミー（GKA）
Northern Valley Regional High School at Demarest（NVD）
Northern Valley Regional High School at Old Tappan（NVOT）／株式会社崎陽軒

共　催　SEISA Africa Asia Bridge 実行委員会・横浜市国際局

後　援　外務省／文部科学省／神奈川県／小田原市／箱根町／大磯町／神奈川県教育委員会／横浜市教育委員会
小田原市教育委員会／大磯町教育委員会／JICA横浜／ヨコハマSDGsデザインセンター／公益財団法人世界こども財団
一般社団法人星槎グループ／学校法人星槎／学校法人国際学園／日本共生科学会

協　力　学校法人星槎こども園 KIDS planet／社会福祉法人星槎／星槎学園／JICA北海道

▼これまでの様子











sTED（Seisa Transnational Education Design：通称sTED）

全国の星槎の中高生、全世界の小中高生が一堂に会し、アフリカやアジアとの繋がりや国連のSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）をテーマに、10年先、20年先、50年先の未来について考え、プレゼンテーションする、sTEDを開催。1年間の研究の成果をもとに生徒たちが仲間と協同して、主体的な学びのアウトプットを行います。



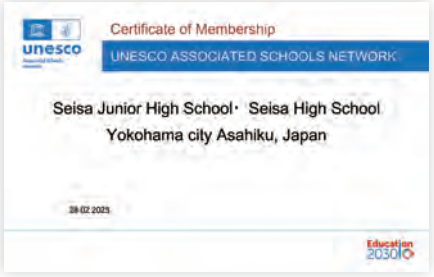
「星槎全国生徒会・同窓会」とSAAB



星槎全国生徒会・同窓会では、「正解を求めない、間違えてないことをやる」をモットーに共生社会の実現を目指し、校内外の課題に目を向け、日々活動をしています。2026年度は星槎について一人ひとりが自分の言葉で語り、伝え続けることができるよう、『継承～仲間と共に変わらない価値を～』をテーマに活動を行っており、SAABでは10年後20年後の未来の後輩たちに向けて継承していきたいことを「星槎遺産」としてどう伝えていくかを提案します。SAABや全国生徒会での活動をきっかけに、自校舎だけでは成しえない発表や学びの機会を通して、一人ひとりが役割と責任を持ち、新たな道を切り開く力を高めています。SAABではこれまで、SDGsに関すること、Well-beingに関すること、よりよい社会を実現するために今できることなど、様々なテーマに取り組んできました。全国生徒会の活動を通して強い信念を持つ生徒、卒業生がいることは、大きな成果であると捉えています。

2025年ユネスコスクール正式認定

星槎高等学校・星槎中学校は、長年にわたるSDGs（持続可能な開発目標）やESD（持続可能な開発のための教育）への取り組みが評価され、2025年2月、ユネスコ本部より正式にユネスコスクールとして認定されました。
本校の国際交流プログラム「SEISA Africa Asia Bridge」は、2021年に「ユネスコスクール／日本ESD賞」国内推薦事業に選定され、世界とのつながりを深めながら、持続可能な社会づくりに向けた教育活動を推進してきました。
今回の正式認定を機に、星槎グループ全体で、これまで以上にSDGsの実現とESDの実践に力を注ぎ、未来を担う生徒一人ひとりが「共生」社会を創る力を育んでいきます。



SAAB 一斉授業

全国にある星槎の校舎をオンラインで繋ぎ、SAABに向けて共に学び、知って繋がるための「一斉授業」を行っています。各校舎で「アフリカ」「アジア」などに関わるテーマ（歴史、衣食住、文化、風土、気候、宗教、地理、産業等）について調べ、SAAB当日はステージやオンデマンド放送・ポスター発表等でプレゼンテーションを行います。また、事前に動画の編集方法、プレゼンテーションの仕方を学んでいます。当日の発表にご期待ください。



国内最大規模の国際会議 TICAD9（第9回アフリカ開発会議）報告

アフリカ・アジア連携の未来へ

2025年8月20日（水）～22日（金）、横浜で開催されたTICAD9では、アフリカ諸国との教育・文化・経済分野での協働が議論されました。星槎高等学校の金子校長は、会議後の総理・横浜市長レセプションに招待され、今後のSAABへの協力を依頼しました。
また、今回のTICAD9担当大使の丸山則夫氏は、これまでのSAABを通じて星槎の「共に育つ」理念に理解を示してくださっています。今回の交流は、星槎の国際的な歩みをあらためて確認する機会となりました。



第11回ニューヨーク海外研修　国際連合訪問

2026年10月16日、第11回ニューヨーク海外研修の一環として、星槎グループの生徒61名が、国際連合アフリカ担当事務総長特別顧問室（UNOSAA）を訪問しました。
当日は、UNOSAAの日本人1名を含む担当官5名にご参加いただき、生徒たちは約1時間にわたり、これまでの国際交流や海外研修での取り組みについて発表しました。
また、今後、世界の若者たちの交流をさらに充実・発展させるために行ってきた募金活動の成果についても報告し、私たちが大切にしている「共生」の理念を共有することができました。
UNOSAAの担当官からは、今後も若者たちをつなぐ架け橋となり、これまで継続してきた国際交流をさらに発展させてほしいとの力強いメッセージをいただきました。
今回の訪問を通じて得た学びを生かし、今後は、一人ひとりの小さな行動を世界中の人々とのつながりへと広げていきます。そして、誰もが安心して笑顔で暮らせる平和な世界をともにつくり、SDGs目標16「平和と公正をすべての人に」および目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」の実現につなげていきます。



最後に、UNOSAAの担当官からは、SDGsの実践と異文化理解の深化に取り組む「SEISA Africa Asia Bridge（SAAB）」の活動を通じて、今後も引き続きリーダーシップを発揮してほしいとのお言葉をいただきました。
今回の訪問を新たな一歩とし、これからも国際交流を通じて相互理解を深め、共生社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。